

園だより

第 1 号

平成 31 年 4 月 8 日



成長を積み重ねて

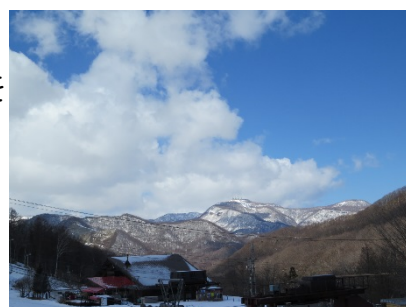
園長 馬見 雅子

入園、進級おめでとうございます。2019年度は、45名の年少赤組を含め51名の新しい仲間を加え、計128名の子どもたち、そして保護者の皆様との生活がスタートします。新しい環境や新しい繋がりの中でどのような関わりが生まれていくのか、そして一人一人の子どもたちがどんな表情や成長を見せてくれるのか、職員一同楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひ致します。

盤溪の山にはまだまだ雪が多く残っていますが、ものすごいスピードとパワーで春が進んでいます。地面からは次々に芽が出て、木々は葉をつけ、花が咲き、虫たちが活動を始めます。山全体の色が変わります。子どもたちも例外ではありません。新しい環境に飛び込むこと、大きくなったという喜びと自信から、ぐんと成長が見られる時期です。

年度末に平成30年度の保育反省をしました。各学年で立てた年間の指導計画と実際の子どもたちの育ちを見つめて、自分たちの教育の反省や評価をします。その話し合いの中で子どもたちの様々な姿が思い起こされ、その成長が確かなものであったと再確認ができました。新しい年度となり、昨年度の学年で大きく成長した子どもたちは次の学年のスタートに立ちます。その成長はリセットされるわけではなく、成長の上にまた成長を重ねていきます。先日、立派に成長し卒園した子どもたちは小学校で1番小さい1年生としての生活が始まっています。幼稚園での育ちの上に小学校での成長が積み重なっていくことでしょう。新あか組・新みどり組・新あお組の子どもたちも新しい1年がスタートし、新たな成長を重ねていくことでしょう。

さて、少し話は違って私たち大人はどうでしょうか？少なくとも子どもたちのように目に見えた成長はないかもしれません。しかし、大人だって成長を重ねているはず！教師達とは、今年度「伝え合い」「柔軟な取り組み」を意識しより良い取り組みをしていきたいと話合っています。教師は良い教育を目指して、保護者の皆様も親として、子どもの成長に助けられながら共に手を携えて成長して（年の功を重ねて？）いきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ致します。



青空に手稲山



なごり雪続く盤溪

2019年度の教育に当たって

2019年度の教育計画作成に当たり、ばんけい幼稚園の教育について、何を大切にしていけるかを改めて教師間で確認しました。以下に示したことを、**遊びを通して主体的に総合的に経験**していけるようにします。新しい時代に求められる生きる力の育みを園・学校・家庭・地域が共有して行っていけるように考えていきます。また、**預かり保育の拡充、未就園児保育、教育相談等、子育て支援としての役割**も担っていきたいと考えています。保護者の皆様の温かいご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

<教育目標>

豊かな自然・人・様々な環境との関わりを通して、意欲的に生活する
心豊かで健やかな子どもを育む

<目指す子どもの姿> ~育てたい子どもの姿~

- ・自然との関わりを楽しみ、よく遊ぶ子
- ・その子らしく感じ、考え、やってみようとする子
- ・人と関わるのが好きで、思いやりのある子
- ・心も体も元気で、たくましい子

<教育の重点> ~大切にしたいこと~

<根っこが育つ> <体験を通して育つ> <遊びを通して育つ>

- 恵まれた自然の中での遊びを通して、豊かな心や健やかな体を育てる。
- 子どもとの信頼関係を基にし、子どもが安心して自分らしさを表現できるようにする。
- 遊びを通して子どもの意欲や興味・関心を広げ、様々な気づきや学びが生まれるようにする。
- 人との関わりを通して、人と関わる楽しさやお互いを大切にする心を育む。
- 社会生活を送るうえで必要な習慣や態度を身に付け、社会の中で健康で楽しく生活できる態度を育む。